毎週月曜日更新

カタカタ通信

第１５９号

「最近のコウノトリ」

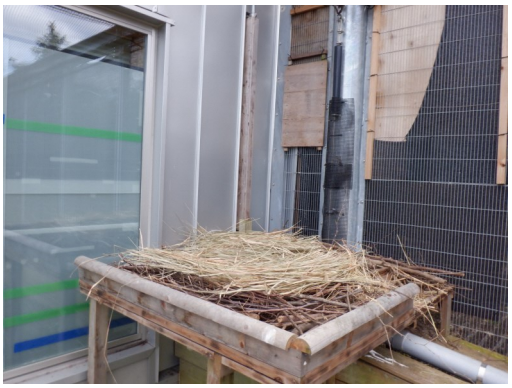
２０２５年1月１３日

みなさんが新年のあいさつを終える頃、ここ天空の里では、飼育ケージ内に巣材をいれました。昨シーズンは１２月から巣材をいれていましたが、空（♂）と花（♀）の巣作りや繁殖に向けてのやる気がずれていたように感じました。そこで今シーズンからは、少量の枝を１２月にいれ、１月から本格的に巣材をいれることにしました。

朝、巣材をいれるとすぐに巣材をくわえて動き始めます。巣台から巣材のチガヤを運び出すと池の中にいれていました。水にチガヤを浮かべ、虫が浮いてくるのを狙っているようです。そんなことを何度か繰り返し、いつもよりたくさん動き回っています。極端には変化していませんが、少しずつ繁殖行動が増えることを期待しています。

繁殖準備として、展示スペースのガラス面に目隠しを設置しました。見づらくなっていますが、そっと覗いてみてごらん。

そして、第１５３号で話していた体重測定。空も花も測定に成功しました。天空の里へ来た時よりも増えています。体重計に乗り、測定できるまでに、結構大変な苦労がありました。その話は、また今度。



巣材をいれました

こっちもいれました

目隠しをつけました

天空の里　鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：しみじぃ